

# 令和元年度木材使用量実績（森林再生課 木材使用量実績調査） 別紙1

調査期間：令和2年11月17日～令和3年1月15日

令和元年度の木材使用量は、建築（造作材）の分野で倍増したものの、建築（構造材）については昨年度の1/10程度の使用量となりました。総量としては対前年102%の917.6m<sup>3</sup>となりました。（平成30年度895.9m<sup>3</sup>）

県産木材使用量については、建築（造作材）分野で倍増しましたが、建築（構造材）で減少し、対前年103%の650.9m<sup>3</sup>となり、昨年度と同水準となりました。木材使用量全体に占める県産木材使用割合も70.9%と過去3か年で7割前後の水準となっています。（平成30年度633.5m<sup>3</sup>）

## ①用途別・産地別 内訳

（単位：m<sup>3</sup>）

	県産木材	他県材	外材	不明	合計	用途別比率
1 土木	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0%
2 公園	0.0	66.7	0.5	4.8	72.0	7.8%
3 建築（構造材）	0.0	0.0	5.3	0.3	5.6	0.6%
4 建築（造作材）	132.4	4.4	91.7	70.2	298.7	32.6%
5 森林整備	476.4	0.0	0.0	0.0	476.4	51.9%
6 森林土木	39.7	6.3	0.0	4.1	50.1	5.5%
7 その他	2.5	0.0	0.0	12.3	14.8	1.6%
総計	650.9	77.4	97.5	91.7	917.6	100.0%
産地別比率	70.9%	8.4%	10.6%	10.0%	100.0%	

## ②樹種別・産地別 内訳

（単位：m<sup>3</sup>）

	県産木材	他県材	外材	不明	合計	樹種別比率
1 スギ	115.3	2.0	2.4	4.3	124.0	13.5%
2 ヒノキ	65.4	0.0	0.0	17.6	83.0	9.0%
3 スギ・ヒノキ	469.8	67.8	0.0	1.4	539.0	58.7%
4 その他針葉樹	0.0	5.1	81.3	3.1	89.5	9.8%
5 広葉樹	0.0	2.5	10.5	6.7	19.7	2.1%
6 不明	0.4	0.0	3.4	58.6	62.4	6.8%
総計	650.9	77.4	97.5	91.7	917.6	100.0%
産地別比率	70.9%	8.4%	10.6%	10.0%	100.0%	

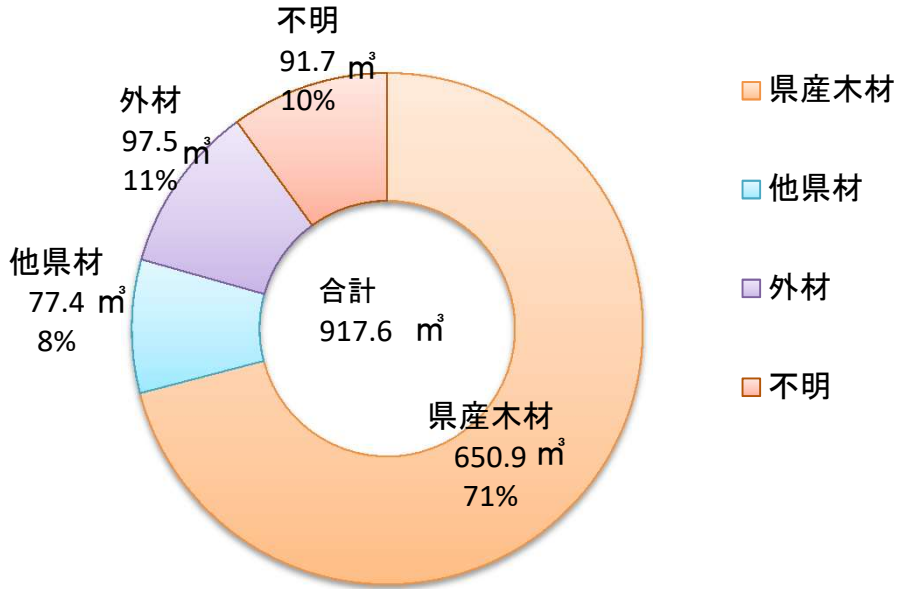
## ③加工区分別

（単位：m<sup>3</sup>）

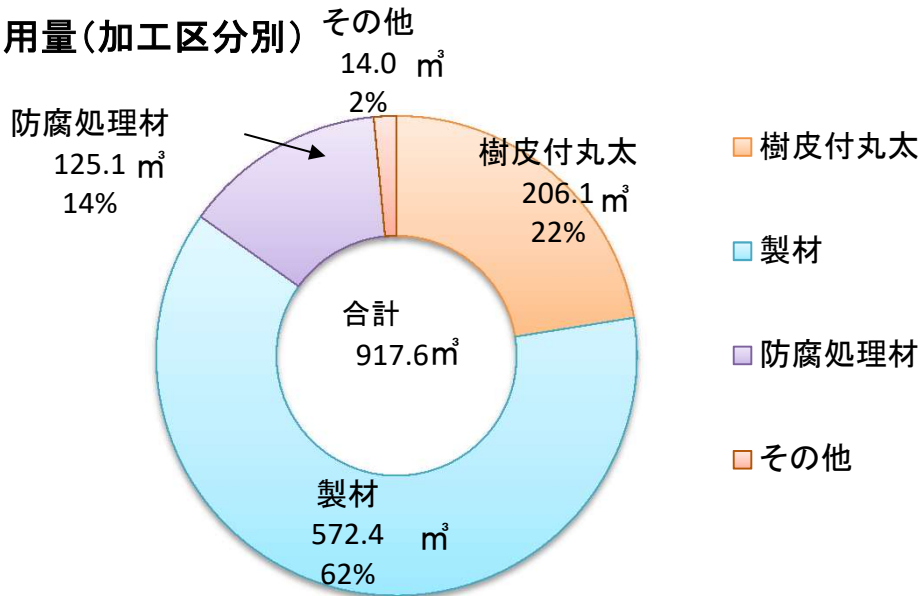
	樹皮付丸太	製材	防腐処理材	その他	合計	用途別比率
1 土木	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0%
2 公園	0.0	0.5	71.5	0.0	72.0	7.8%
3 建築（構造材）	0.0	5.6	0.0	0.0	5.6	0.6%
4 建築（造作材）	0.0	234.5	50.2	14.0	298.7	32.6%
5 森林整備	198.6	277.7	0.0	0.0	476.4	51.9%
6 森林土木	7.5	41.7	0.9	0.0	50.1	5.5%
7 その他	0.0	12.3	2.5	0.0	14.8	1.6%
総計	206.1	572.4	125.1	14.0	917.6	100.0%
加工別比率	22.5%	62.4%	13.6%	1.5%	100.0%	

※県産木材：現地発生材と県産認証材の合計値

①木材使用量(産地別)



②木材使用量(加工区分別)



③木材使用量(用途別)

